

有本製・面白手作テニスグッズが整いました！

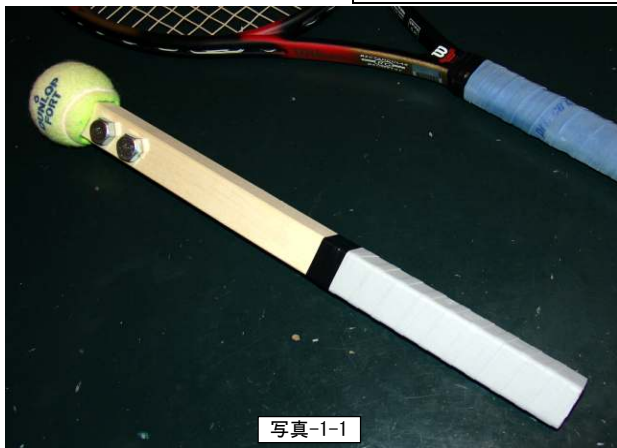


写真-1-1

拍子木グリップ信者用のマスコットラケット

木製の四角(20×25mm)のグリップで拍子木の面感覚(親指と人差し指で挟んだ間に打つ面がある感覚)が体感でき総質量300~350g(調整ウェイトボルト付き)でバランスも約300mmと実際のラケットに近い感覚でできており、マスコットバットのよう感覚で狭い所(部屋等でも)素振りすることができ、休憩時は先端のボールで肩叩きもできる優れものに仕上がった。全長約460mmなので出張などで携帯して現地で素振りをして手ニス感覚を継続することができる。材料費約500円



写真-1-2

拍子木グリップ用マスコットラケットの支え方

体操の平行棒で自分の体重を支えるが如き親指と人差し指の間(腕の中心)をボールの中心と合致させることにより最も楽にボールの圧力やラケットの遠心力を支えることができるのがこの写真-1-2の拍子木グリップ(地面方向に支えた場合)である。そのグリップを90°前方向に起こし、前からの圧力に手首トルクゼロで支えることが出来る、正に拍子木を叩くが如き四角いグリップを親指と人差し指で挟む支え方が、この写真-1-3の拍子木グリップである。脱力打法(無力打法)には持って来いの頑張らないグリップである。決してグリグリ打法が目的のグリップでは無いですよ。

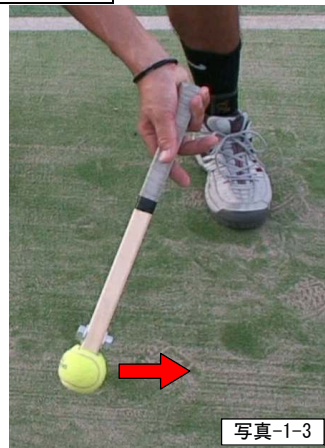


写真-1-3



写真-2-1

硬式テニスボール回収筒



写真-2-2

平成15年頃にテニス雑誌にアメリカ式ボール回収器(ボールピッカー)の宣伝記事が載っていたので、早速特技の機械設計技術を利用して、エンパイブや市販部品で試作してみたのがテニスボール回収筒(VUG5×1500mm)である。腰を屈めずに立ったままで(写真-2-1参照)約25個のボールを一方通行機能(逆止弁機能)を設けたパイプに下口から押し込み、上まで一杯になれば、逆さ(写真-2-2参照)にしてボールカゴに戻すことができると言う、腰痛持ちや横着な選手用のシンプルな球拾い装置である。欲を言えば透明パイプで携帯できれば最高であるが、材料費約1,000円



写真-3-1

携帯用シングルスティック



写真-3-2

平成10年頃からS研(シングルス研究会)という練習会を発足し、シングルの試合をすることが多くなり、そのため開発したのがこの携帯用シングルスティックで、2種類の径のステンレスパイプを加工して全長107cmに組立状態が写真-3-1である。特徴は写真-3-2のように伸縮してラケットとほぼ同じ長さになり、持ち運びが容易になる代物である。公式試合には太さの規定をクリアして無いので使用できないようだ。材料費2本1組で約3,000円



写真-4-1

スコアボード(3セットマッチ用)

平成元年頃から各大会が、負け審からSCUになり、そしてセルフジャッジに移行し、そのためゲームの進行状況が良く解り試合運営が行ない易い写真-4-1のような舞鶴市テニス協会独自のスコアボードを林副会長に作製して戴いた。その後、改良したりパウチで防水加工したネームプレートと番号札等を提案し、各大会毎に新しい選手名があればチェックして追加作製しており、大会運営の必需品となっている。都会の大会ではばらばらになる磁石プレートで液晶数字を作っていくような、斬新なスコアボードがあるが、欠点としては、試合中にも関わらず、サイドチェンジに選手がその操作にてこずったり考えたりと慣れないと結構頭と時間をを使う。一方このスコアボードは迷うことも無く3セットマッチまで表示できるので選手や観客に優しい。このタイプのスコアボードが舞鶴市を拠点として各市に広がっているのが嬉しい。



写真-4-2

スコアボード(1セットマッチ用)軽量コンパクト版

平成15年頃に綾部市テニス協会からスコアボード8面分の依頼があり、低発砲塩ビ板(350×400×5mm)を使用して軽量、耐水、耐久、コンパクト、シンプル化を考慮したスコアボードが写真-4-2である。1セットマッチ専用であるが、最近では3セットマッチの大会が少なくなったので殆どの大会はこのボードで間に合う。もし3セットマッチの場合は、色付き洗濯バサミ2個等を使い上下チームのセットの取得表示を行なうことで十分使用できる。材料費1組約5,000円



壁掛け用大会銘板(写真-5)

写真-5は、縦(30cm)×横(150cm)の大きさの壁掛用大会銘板であります。体育館や丸山テニスコート等で大会を開催していても、関係者や選手以外は何の大会か解らないので、ちょくちょく聞かれることがありました。そこで大会ごとにA4横の大きさの文字を防水加工(パウチシート)して四隅に穴を明けて蝶ネジで低発砲塩ビ板に固定することにより、舞鶴市テニス協会の1年中の大会の各文字カードを組合せて、この1枚の銘板に装着し会場入口に掲示することで、大会のモチベーションも上がる代物であります。材料費1組約7,000円